

I 第5週の発生動向 (2010/2/1~2010/2/7)

1. インフルエンザについては、県内すべての保健所管内において**警報**が解除となっています。
2. 感染性胃腸炎については、県全体の届出数の多い状態が継続していることから今後も注意が必要です。
3. 伝染性紅斑については、上十三保健所管内において第3週から**警報**が継続しています。

II 第5週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数 (前週からの増減)	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科 +内科 (85) インフルエンザ	14	1.0	17	1.1	11	0.8	26	3.7	20	2.2	4	0.7	92	1.4	-6			14	1.2
小児科 (74) RSウイルス感染症	1	0.1	2	0.2	3	0.3	4	0.8	1	0.2	1	0.3	12	0.3	-6			1	0.1
(75) 咽頭結膜熱			1	0.1					3	0.5	6	1.5	10	0.2	-2				
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	0.7	11	1.2					8	1.3	14	3.5	39	0.9	-2			6	0.8
(77) 感染性胃腸炎	118	13.1	103	11.4	39	4.3	16	3.2	69	11.5	68	17.0	413	9.8	-39	3	3.0	115	14.4
(78) 水痘	15	1.7	9	1.0	6	0.7	4	0.8	3	0.5	1	0.3	38	0.9	16			15	1.9
(79) 手足口病									2	0.3			2	0.0	1				
(80) 伝染性紅斑	1	0.1			2	0.2			12	2.0			15	0.4	1			1	0.1
(81) 突発性発疹	5	0.6	1	0.1	1	0.1	1	0.2	4	0.7	4	1.0	16	0.4	2	1	1.0	4	0.5
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ			1	0.1			1	0.2					2	0.0	1				
(84) 流行性耳下腺炎	9	1.0	2	0.2			1	0.2	4	0.7			16	0.4	-12			9	1.1
眼科 (86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎					1	0.5	2	2.0					3	0.3	2				
基幹 (95) マイコプラズマ肺炎					2	2.0					4	4.0	6	1.0	1				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患

(注：届出状況は速報値です)

(9) 結核(二類全数把握疾患)：弘前1人、八戸1人、上十三1人、青森市1人

(22年計：26人)

IV 病原体検出情報

※ () 内の日付は検体採取日です。

・青森地域(1/19)及び弘前地域(1/14)における急性胃腸炎患者2名の糞便から、**ノロウイルスG II型**が検出されました。

過去の全数把握疾患については、月報をご覧ください。

感染症の感

感染性胃腸炎

(更に注意が必要です)

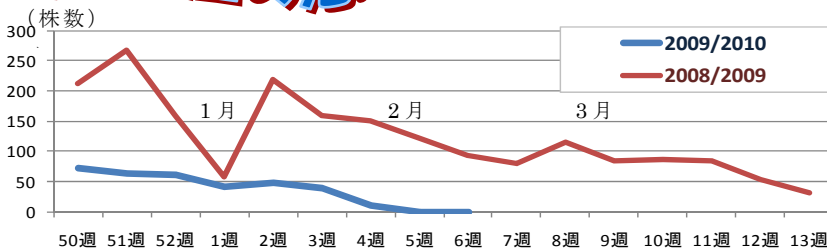


図1. ノロウイルス、サポウイルス報告数(全国)

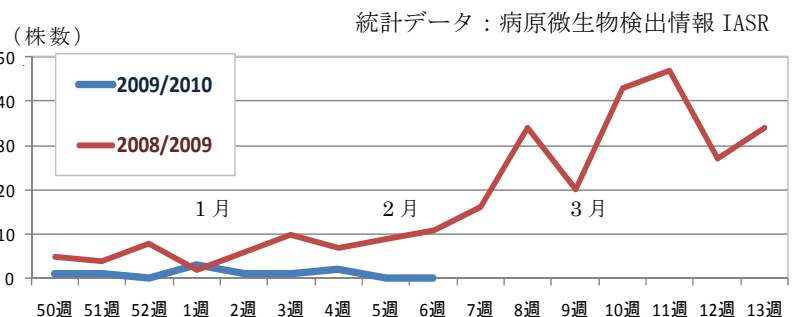


図2. ロタウイルス報告数(全国)

統計データ：病原微生物検出情報 IASR

* 全国地方衛生研究所から報告された検出株数です。

★冬季の感染性胃腸炎の主な原因病原体にはノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルスなどがあります。

➡ノロウイルス等による胃腸炎はロタウイルスの流行期にやや先行して流行する傾向にあります。図1にはノロウイルス等による報告数を示しています。

➡ロタウイルス胃腸炎は12月から3月に集中し(図2)、小児の下痢症の30~50%を占めるとされています。散发例がほとんどですが、小学校などにおける集団発生も報告されています。

これらのウイルスの感染力は非常に強いこと、症状消失後も便の中に3~7日間はウイルスが排出されていることから**吐物や便などの処理には十分に注意することに加え、丁寧な手洗いが感染予防上重要**です。

V インフルエンザ情報 (注: 届出数は速報値です)

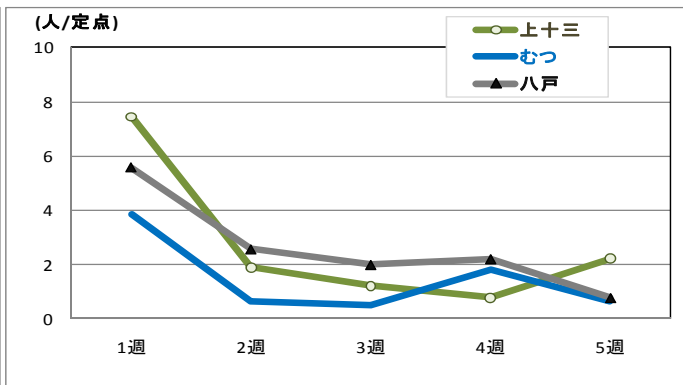
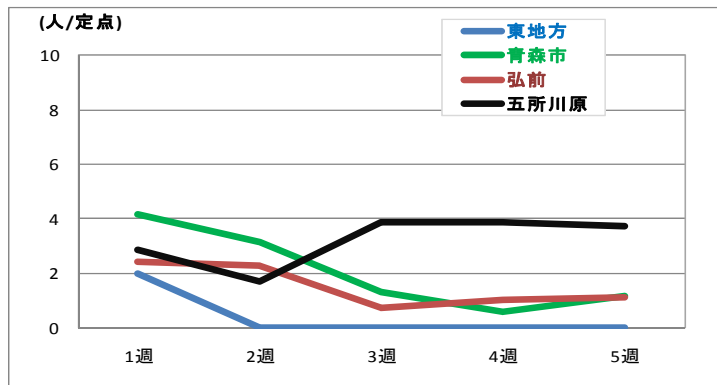
・青森県全体の届出数は92人(6人減少)です。

	50週	51週	52週	53週	1週(2010)	2週	3週	4週	5週
東地方+青森市	警報	警報	警報	—	—	—	—	—	—
弘前	警報	警報	警報	—	—	—	—	—	—
八戸	警報	警報	警報	—	—	—	—	—	—
五所川原	警報	警報	警報	—	—	—	—	—	—
上十三	警報	警報	警報	警報	—	—	—	—	—
むつ	警報	警報	警報	警報	—	—	—	—	—

V-1 迅速診断キットによる型別は以下の通りです。

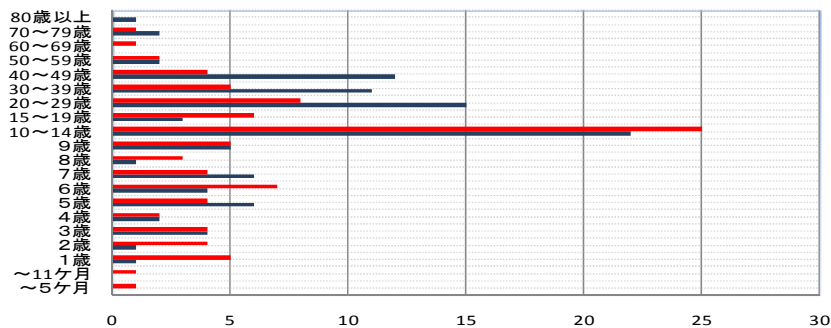
	東地方	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ	青森市
インフルエンザ報告数	0	17	11	26	20	4	14
A型	0	16	11	26	20	4	13
B型	0	1	0	0	0	0	1
不明	0	0	0	0	0	0	0

V-2 保健所管内別の定点あたり届出数推移



・警報開始基準値は30人/定点、終息基準値は10人/定点、注意報開始レベルは10人/定点です。

V-3 年齢別構成 (2週比較) 単位: (人)



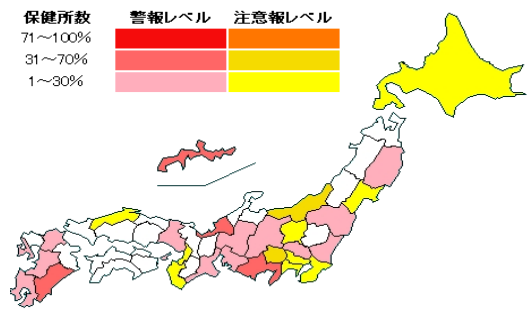
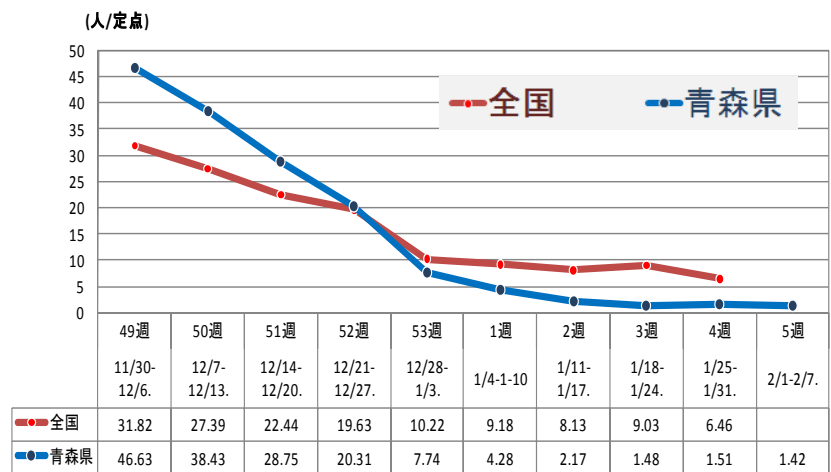
年齢	5週	4週
80歳以上	1	1
70~79歳	1	1
60~69歳	5	4
50~59歳	4	4
40~49歳	2	4
30~39歳	4	2
20~29歳	7	4
15~19歳	4	6
10~14歳	7	4
9歳	3	6
8歳	4	4
7歳	1	6
6歳	3	1
5歳	5	5
4歳	2	5
3歳	4	2
2歳	5	2
1歳	2	3
~11ヶ月	2	2
~5ヶ月	1	1

(青森県保健所管内マップ)



V-4 全国比較 (2009年49週~2010年5週)

※全国値は4週までです。



第4週 感染症発生動向調査

図中白い部分は、警報・注意報発令保健所が存在しない都道府県です。

出典: 国立感染症研究所